

鹿野耕平先生（南箕輪小）の「極意」伝承道場訪問

11月14日（金）



観て、聴いて、やってみよう



図工は自己表現！

子どもは思い思いに墨絵の面白さを体感していました。

鹿野先生の個人研究テーマは「子どもたちが自らの発想構想を生かし、のびのびと表現する授業づくり」です。この日は図工の「墨で描こう」を参観させていただきました。筆を使い墨の濃淡をだしたり、にじみ、かすれの面白さを実感したりした子どもたちは、他にもはけやスポンジ、わら、ストローなど、墨と道具を合わせた面白さを何回も半紙に試して、自分に合った表現を探していました。鹿野先生の教材研究は丁寧で、様々なものを使って墨で描く実演や、アドバイスを子どもたちに的確にしていました。子どもの思いや考えを上手に引き出し、価値付けていたので、子どもたちがのびのび表現できる授業でした。